

第八代第十一特科隊長 柴田慎一 一等陸佐着任



(発行所)
11特OB会

(連絡先)
札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線2645

(印刷)
札幌造型合同会社



▲巡閲を行う柴田一佐

隊は、令和四年三月十四日(月)晴天のなか、真駒内駐屯地において、第八代第十一特科隊長 一等陸佐 柴田慎一の着任式を行った。

柴田一佐は、着任式に先立ち、真駒内駐屯地慰霊碑で、殉職者に対する哀悼の意を表するため献花を行うとともに、旅団司令部庁舎で第十一旅団長に対する着任申告を行った。

その後、駐屯地西体育館において、第十一旅団長による紹介を受けたのち、着任式では、統率方針「女神らしく」、要望事項「考えて前へ」を隊員へ徹底した。

翌十五日には、雪が舞うなか、初度巡視を行い、勤務隊舎、生活隊舎及び野外施設等を確認・点検し、特科隊の現状を把握するとともに、立会者一人一人に声を掛けつつ、隊員の身上及び士気を確認した。



▲着任の辞を述べる柴田隊長



▲旅団長による紹介



▲隊長による初度巡視(15日)



▲真駒内駐屯地慰霊碑での献花



▲幹部による出迎え

主要勤務歴

平成11年	10月	第3特科連隊(姫路)
平成18年	8月	特科教導隊 第2中隊長(富士)
平成20年	8月	富士学校特科部 戦術教官(富士)
平成22年	3月	航空自衛隊幹部学校 第58期指揮幕僚課程(目黒)
平成23年	3月	航空総隊司令部防衛部 防衛課(府中・横田)
平成25年	3月	東部方面総監部防衛部 防衛課(朝霞)
平成26年	2月	東部方面総監部防衛部 訓練課(朝霞)
平成27年	3月	陸上幕僚監部教育訓練部 教育訓練課(市ヶ谷)
平成29年	3月	陸上幕僚監部運用支援・訓練部 訓練課(市ヶ谷)
平成31年	3月	教育訓練研究本部 訓練評価部(目黒)
令和2年	12月	富士学校特科部 術科教育班長(富士)
令和4年	3月	現職

第八代 第十一特科隊長 柴田一佐



隊長統率方針

「女神らしく」

隊長要望事項

「考えて前へ」



主な記事

- 二面 令和三年度第四回隊訓練
- 三面 令和三年度冬季山岳機動訓練(応用)
- 四面 令和三年度自衛官幹部任官者の紹介等
- 五面 特科隊部隊紹介
- 六面 転出者・転入者紹介

令和三年度第四回隊訓練



▲検問訓練

隊は令和四年三月一日(火)から七日(月)までの間、真駒内駐屯地において令和三年度第四回隊訓練を実施した。

本訓練は、積雪寒冷地で施設等防護の任務を付与された特科隊の行動を訓練し、任務の特性に応じた能力の向上を目的として行った。

本訓練を行うにあたっては、第十一旅団の法務官、第十八普通科連隊、第十一施設隊など、専門的な知識を有する関係職種等の助言を得て練成するとともに、検証班を設け、色々な視点から練成内容を振り返り、練度向上を図った。



▲防護施設構築訓練



▲車両検索訓練

各中隊の訓練状況



▲法務教育



▲施設内の安全確認

第一中隊



▲射撃訓練



▲二名での前進要領

本部管理中隊



▲若年隊員への小銃操作訓練



▲施設内の安全確認

第三中隊



▲階段の通過要領

第二中隊

▲中隊作戦会議

令和三年度

特科隊冬季山岳機動訓練 (応用)

隊は、令和四年一月五日(水)から十六日(日)までの間、真駒内駐屯地、北海道大演習場西岡地区及び赤井川村キロロススキー場周辺山岳地域において令和三年度冬季山岳機動訓練(応用)を行った。

本訓練は北後志地区隊区担任部隊としての特性を踏まえ、冬季における山地での行動に必要な知識・技能の向上を図る目的で重装備を携行した状態での山地機動、遭難者捜索・救助及び搬送などを訓練した。

特に、十五日(土)には、キロロススキー場周辺を使用して、要救助者の捜索から搬送までを、一連の行動として総合訓練を行い、訓練参加者の練成成果を確認した。

訓練参加者からは「厳しい環境での訓練でしたが、山地での訓練により、冬季の厳しい任務を遂行し得る自信がついた」と、積雪寒冷地での山岳機動に必要な能力の向上と自信を付与することができ、今後の訓練の資を得て終了した。



▲山地機動 (昼間)



▲山地機動 (夜間)



▲ストレッチャーによる要救助者搬送



▲要救助者の引き上げ

第七代第十一特科隊長 廣岡 睦 一等陸佐 離任

隊は、令和四年三月十一日(金)西体育館において、第七代特科隊長廣岡睦一等陸佐の離任式等を行い、第十一旅団長による、離任部隊長の紹介のほか、巡閲、離任の辞、隊長の見送り等を実施した。離任の辞では、隊長上番間の隊員への想いが伝えられるとともに、特科隊の指揮を解かれた。

見送りでは、廣岡一佐より特科隊及び隊員に対してサブライズの万歳三唱が行われたのち、全隊員の見送りのなか、廣岡一佐は、第四師団司令部火力調整部長として福岡駐屯地へ赴いた。



▲巡閲



▲廣岡一佐離任式



▲廣岡一佐による万歳三唱



▲離任の辞を述べる廣岡一佐

～令和三年度自衛官幹部任官者の紹介～



▲重装備でのアキオ曳航



▲サービスの宣誓を唱和

この度、幹部に任官いたしました、第二中隊片山三尉です。出身は愛知県名古屋市の古屋市。主な趣味はウクレレ、模型製作、アクアリウムです。改めましてよろしくお願ひします。

私につきましては、幹部候補生学校入校までは地元名古屋で普通科の陸士として勤務しておりましたので、この第十一特科隊に配置されてから、毎日が新しい発見の連続で非常に楽しく勤務することができております。

現在、国際情勢が混沌を極めており、自衛隊に係る役割も今後益々増加していくことが予想されます。そのような中で、私は他職種部隊との火力調整者たる前進観測班(FO)として、部隊に寄与し、日本の安全保障のために活躍していきたいと考えております。そのため、幹部初級課程教育(BOC)や各種部隊訓練等においては、失敗を恐れず何事にも挑戦していき、皆様方のご期待に応えられるよう、職務に邁進していきます。所存でありますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



第二中隊 片山三尉
(三月十二日幹部任官)

出身 愛知県
趣味 ウクレレ
ニックネーム ウッディ ベルトルト
座右の銘 自由闊達



※片山3尉作

～令和三年度認定若き指導官の紹介～

栄譽を称えて

上級・部隊スキー指導官

第一中隊 能代谷二曹 (上級)



上級スキー指導官として、部隊に貢献出来る様に、精進します。今後、も宜しくお願ひします。

第二中隊 小林三曹



常に目標を持ち、日々冬季戦技の指導官として、心身を鍛え、部隊に貢献します。引き続き頑張ります。

部隊格闘指導官

第一中隊 坂野三曹



部隊格闘指導官としてのスタートラインに立つ事が出来ました。まだまだ未熟ですので引き続き練成します。

第三中隊 北村三曹



念願の部隊格闘指導官認定を頂きました。近接戦闘について、少しでも隊に貢献できるように努力します。

令和三年度旅団
最先任上級曹長表彰

第三中隊 渡邊二曹



皆さんのおかげで、表彰を受けることができました。今後も、特科隊に貢献できるように、精進します。



▲旅団最先任上級曹長より表彰



通信小隊

有線・無線班
 特科射撃の指揮の命脈として
 有線・無線による通信網の構成・維持・運営を行う



射撃中隊

戦砲隊
 命令により速やかに陣地を占領
 射撃号令に基づき射撃(弾丸を発射)を行う



99式弾薬給弾車



99式155mm自走りゅう弾砲



特科隊部隊紹介

情報小隊

観測班
 状況に応じた射撃諸元(射撃に必要なデータ)の算定・標定及び
 射撃の観測の基礎をつくり射撃精度を向上させる



レーダ班
 対砲レーダ(P-16)を装備し敵砲迫の標定及び観測
 を行い戦闘に必要な情報を迅速に収集する



対砲レーダP16



指揮小隊

射撃指揮班
 前線からの射撃の要求をうけ、射撃諸元(射撃に必要なデータ)
 を計算し射撃の命令を射撃部隊に伝達する指揮機関



気象班
 気象測定装置(M5)を装備し、気象報を作成
 射撃精度を維持向上させる



気象測定装置M5

三月転出者

隊本部

- 三等陸佐 吉田 悠
北部方面総監部(札幌)へ
- 三等陸佐 田中 寛人
第六普通科連隊(美幌)へ
- 三等陸佐 飯田 好貴
富士学校(富士)へ
- 本部管理中隊

- 陸曹長 浅野 学
出雲駐屯地業務隊(出雲)へ
- 陸曹長 高橋 哲矢
東千歳駐屯地業務隊(東千歳)へ
- 一等陸曹 津川 哲哉
北恵庭駐屯地業務隊(北恵庭)へ
- 一等陸曹 工藤 順章
北部方面混成団(東千歳)へ
- 一等陸曹 小笠原 豪城
幌別駐屯地業務隊(幌別)へ
- 二等陸曹 宗像 千佳
郡山駐屯地業務隊(郡山)へ
- 二等陸曹 西澤 智久
訓練評価支援隊(北千歳)へ
- 二等陸曹 高橋 武男
真駒内駐屯地業務隊(真駒内)へ
- 二等陸曹 杉谷 全俊
第二特科連隊(旭川)へ
- 第一中隊
- 二等陸曹 須和 洋平
第二特科隊(旭川)へ

- 二等陸曹 須和 洋平
第二特科隊(旭川)へ

- 二等陸曹 大浦 裕児
幌別駐屯地業務隊(幌別)へ

- 三等陸曹 大井 裕
第五特科隊(帯広)へ

- 三等陸曹 緒方カールソンアーサー
特科教導隊(富士)へ

- 陸士長 畑 真
北部方面管制気象隊(丘珠)へ

- 第三中隊
- 二等陸曹 三枝 健太郎
第五十二普通科連隊(真駒内)へ

**新任地での活躍を
祈念いたします。**

三月転入者

隊本部

- 三等陸佐 竹澤 真哉
第一特科団(北千歳)より
- 一等陸尉 柴田 創史
富士学校(富士)より
- 一等陸尉 吉田 泰博
第一特科団(北千歳)より
- 二等陸尉 佐藤 雄太
第五特科隊(帯広)より
- 本部管理中隊
- 准陸尉 戸塚 丈仁
第一師団司令部付隊(練馬)より
- 一等陸曹 大根田 祥巳
第十二特科隊(宇都宮)より

- 二等陸曹 山田 直人
札幌駐屯地業務隊(札幌)より

- 三等陸曹 石岡 和樹
第十一後方支援隊(真駒内)より

- 陸曹長 松本 一茂
第十即応機動連隊(滝川)より

- 第一中隊
- 一等陸曹 齊藤 智也
第十二特科隊(宇都宮)より

- 一等陸曹 前田 英則
第一陸曹教育隊(東千歳)より

- 二等陸曹 大久保 充智
特科教導隊(富士)より

- 二等陸曹 滝石 光右
第五特科隊(帯広)より

- 第三中隊
- 二等陸曹 菅沼 元啓
特科教導隊(富士)より

- 第二中隊
- 陸曹長 藪田 清晃
第一空挺団(習志野)より

- 陸曹長 森崎 政喜
北部方面総監部付隊(札幌)より

ようこそ

第十一特科隊へ

これからよろこぶ

お願い致します。

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。

手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 藪本

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によつて手続きを進める事になりますが、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人が逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さいますことをご家族皆様へお伝えいただきようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一五八一―三一九一
(内線二六四五) 担当 米田